

平成29年度第1回河南町地域公共交通検討会議 会議録（議事要旨）

- 日 時 / 平成29年8月25日（金）午前10時00分～午前11時45分
- 場 所 / 河南町役場4階 大会議室南
- 出席者 / 委員17名／欠席委員2名  
事務局7名  
傍聴者10名
- 配布資料
  - ・議事次第
  - ・委員名簿
  - ・検討会議資料
  - ・運行状況についての総括
  - ・需要喚起方策について
  - ・住民意向調査について
  - ・カナちゃんバス・やまなみタクシーの運行評価について
  - ・スケジュールの共有について
  - ・その他
- 議第
  - 1. 役員選出
  - 2. 報告事項
    - （1）運行状況についての総括
    - （2）需要喚起方策について
    - （3）住民意向調査について
    - （4）カナちゃんバス・やまなみタクシーの運行評価について
    - （5）スケジュールの共有について
    - （6）その他（河南町デマンド型交通調査検討事業について）

## ○議事要旨

### ■役員選出について

実証運行中のため、昨年度の役員が引き続き行う。

会長：平峯委員      副会長：森田委員

監事：槇野委員・浅岡委員

### ■運行状況についての総括について

事務局から概略説明。

### ■「需要喚起方策」について

事務局から概略説明。

### ■「住民意向調査」について

事務局から概略説明。

アンケート方法等の説明を行う。

### ■「カナちゃんバス・やまなみタクシーの運行評価」について

事務局から概略説明。

### ■「スケジュール」について

事務局から概略説明。

### ◆意見

- ・今後、金剛自動車との関わり合い、乗り継ぎの改善が必要かと思われる。
- ・収支比率及び採算が合うのか、1人当たり1,700円以上かかっている事実は恐らく住民は知らないと思う。年間経費約2,700万円を要しており、果たして利用価値があるかどうかを検証する必要があるのではないかと。
- ・今回、無料券を配布することは、初めて聞いたが、それは反対です。やはり「100円」という1つの平等な金額を決めて、全部それでいきましょうということですが、無料券を1回発行すると、これもあれも無料にということになり、それで

なくとも非常に収支率が悪い事業なのでむやみに無料券を発行することには反対である

→取り止めとする。

- イベントで使用时のみなら、無料券も発行していいのではないか。
- 先に無料券を出して後でアンケート調査をしてもあまり効果的な回答が得られないのではないか。
- 公共交通であるため、ある程度の出資を行うのはいいと思うが、要するに需用喚起するという意味では、回数券というのは効果が有効であると思うので回数券を出すのは賛成である。
- アンケート調査の回答数は2,000人の送付数に対して約3割程度の回答率で統計学上問題はない。
- この統計調査はカナちゃんバスの統計なのか、やまなみタクシーの統計なのか。  
→この調査は河南町公共交通機関の統計調査という位置付けである。
- もともと関心のない人はアンケートに回答はしてこないなので、そこは地元区長に協力が必要ではないか。  
→区長会にてアンケートの協力依頼を行っている。
- 交通システム面での評価ですが、一般的な定量的評価というよりも、むしろ河南町全体で考えて、それがこの評価の1番のポイントであることからアンケート調査を見た上であるいは、その他のことを十分考慮した上でこの評価を最終的に行うということが必要になってくる。
- 河南町の高齢化率が約3割であり、今後、高齢化が進む中、実質、これから先の河南町の住民の足として必要になります。現在の評価基準もあるのですが、少し先の河南町の人口構成を考えたときの評価の中に入れて、現在は利用者が少ないが将来は必ず

高齢化が進むという考えの中で評価をするべきではないか。

- せっかく立ち上げた公共交通の循環バスであるのでこれをなくすというのはしたくないと思います。
- 評価の資料のPDCAサイクルという表現は消えてしまったのですか。  
→表現は消えておりません。
- 河南町の地域特性をふまえて社会システム面の評価、交通システム面での側面から評価するということですが、社会システム面の評価という定性であります、訂正データが時にはフリーハンドになりがちですので、定性データも数値化すれば定量化できると思います。そういう評価をされている近隣自治体もあると思いますので、何か定性的に1人でも残してほしいと書いていけば、それだけで残せるというのもおかしい話ですので、質的なものを聞くのは重要だと思います。それをどの様に評価するかというところに少し数値的な数値化するような努力も必要ではないかと考えます。
- 交通システム面での評価を努力目標とするとの事であるが仮に収支率10%を下回ってもそれは努力目標ということで見直し、中止をせずに努力目標だということを言い続けるか、見直し中止というのが定められていて、努力目標というのは表現として不適切ではないかと思います。
- 河南町の人口構造をみていると、現在よりも5年・10年・15年先のことが大変心配になります。財政的にも非常に厳しくなる時期が来るとは思いますが、そのときに我々が時間を掛けてつくったのが財政面によりやめざるを得ないという答えは1個人として絶対にあってはならないと思います。

- 今後のスケジュールですが平成２９年１１月初旬に次の検討会議を開催する予定であり、９月中に住民意向調査等のアンケートを実施致します。その結果を分析し、１１月の検討会議で報告させて頂く予定です。（事務局より）
- 今後は、デマンド型交通調査検討事業の検討作業を重点的に行っていく。平成２９年度予算に計上済である。現在、調査委託作業中であり、中身につきましては、適時、検討会議の中で報告していく。（事務局より）
- 平成２９年１０月頃にもう一度需用喚起策を含めて優先的にワーキング会議を開催したいと考えているので 各委員の協力をお願いする。（事務局より）